

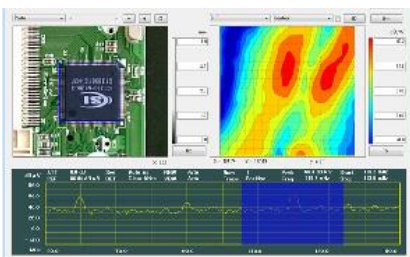
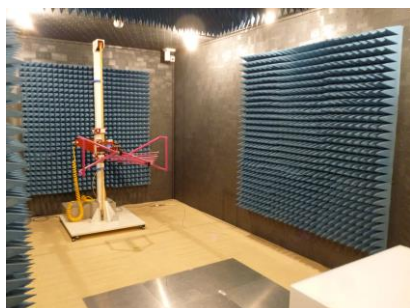
EMI 計測システム

平成 26 年度、平成 31 年度 電源立地地域対策交付金事業により導入

機種： 技研興業（株）電波暗室、コロナ電子工業（株）アンテナポジショナ・ターンテーブル・コントローラ CAT-200 システム、アジレント・テクノロジー（株）シグナルアナライザ N9000A、（株）EMC システムズ EMI ソフトウェア、森田テック（株）EMC ノイズスキャナー WM7300、TESEQ 製 CBL6141B【平成 31 年度】

用途： 空間全体を金属でシールドし、天井、壁、床の 6 面に電波吸収体を設置した電波暗室内において、被試験装置から放射される電磁波ノイズを測定します。

仕 様



- サイズ W5800mm×D2800mm×H2810mm
- 構造 シールドパネル(t=21mm)組立構造
- シールド扉 W1200mm×H2000mm
- 電波吸収体 フェライトタイル
+8 インチ発泡ウレタン製電波吸収体
- シールド性能 電界 150kHz-30MHz 100dB 以上減衰
平面波 30MHz-6GHz 100dB 以上減衰
- フィルター性能 150kHz-6GHz 100dB 以上減衰
- サイトアッテネーション性能 <30MHz-1GHz>
ANSI C 63.4 に規定される正規化サイトアッテネーション特性(NSA)に対し電波暗室における特性の補正值導入後の偏差が±4dB 以内
- アンテナポジショナ稼働領域 1m-1.5m
- ターンテーブル直径 1.2m
- ターンテーブル耐荷重 500kg
- ターンテーブル供試機器電源
単相 100V15A, 200V30A
- 雑音端子電圧測定 150kHz-30MHz,
単相 100V15A, 200V15A
- 放射妨害電界強度測定・・・30MHz-6GHz
- ノイズスキャナー測定範囲
W420×D297×H200mm
- ノイズスキャナー測定周波数・・・150kHz-6GHz

使用例： 評価対象の電子装置から放出される不要な電氣的ノイズを、電波暗室内で測定することで、VCCI、CISPR、FCC 等のノイズ限度値を超えていないか評価できます。3m法準拠の暗室ですので、開発機器を認証試験所に持ち込む前の確認用として、また開発段階での対策評価として有効な設備です。ノイズスキャナーは A3 サイズまでの電子基板等に対し、専用プローブを走査することにより、ノイズ発生場所を視覚的に把握することが可能です。